令和８年度　　通信教育実施計画

松陰高等学校（本校／各学習センター）

教科	科目	単位数	履修上の留意点
芸術	音楽Ⅱ	2	選択科目

指導目標	音楽の諸活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、音楽表現を創意工夫する技能を高めるとともに、音楽文化への理解を深め、生活や社会の中の音楽と主体的に関わる力を育成する。

教科書	副教材等	添削指導	面接指導
高校生の音楽2（教育芸術社）		6回	8単位時間

多様なメディアを利用した学習による面接指導時間数の減免実施の有無	□ 実施している ☑ 実施していない	多様なメディアを利用した学習による減免後の面接指導時間数	該当なし

添削指導（レポート）

回	学習内容	対応する面接指導の回	提出期限
1	曲想と歌詞・音楽の構造との関わりを理解し、個性豊かな歌唱表現を考える。	1	5月13日
2	楽器の音色や奏法を理解し、アンサンブルにおける表現を工夫する。	2	6月6日
3	音素材、リズム、旋律、構成を工夫し、創作表現を深める。	3	7月4日
4	オーケストラや吹奏楽の作品を鑑賞し、音楽の構造と表現上の効果を考察する。	4	8月8日
5	日本及び世界の声・楽器の音楽を比較し、音楽文化の共通性と固有性を考える。	5	11月11日
6	歌唱・器楽・創作・鑑賞を関連付け、音楽の意味や価値についてまとめる。	6	1月20日

面接指導(スクーリング)

回	単位時間	学習内容	実施場所	実施日
1		発声と言葉の特性を生かし、曲想にふさわしい歌唱表現を工夫する。	各学習センター	5月
2		リコーダー又はギター等の奏法を高め、アンサンブルに取り組む。	各学習センター	6月
3		他者との調和を意識し、表現形態の特徴を生かした演奏を行う。	各学習センター	7月
4		音素材や構成を工夫し、意図をもった創作活動に取り組む。	各学習センター	8月
5		吹奏楽・オーケストラの作品を鑑賞し、構造と表現効果を分析する。	各学習センター	10月
6		物語と音楽の関わりを捉え、総合芸術における音楽の役割を考える。	各学習センター	11月
7		日本と世界の楽器・声の音楽を比較し、文化的背景を考察する。	各学習センター	12月
8		学習成果を発表し、自分や社会にとっての音楽の価値をまとめる。	各学習センター	1月

多様なメディアを利用した学習

計画段階では実施予定なし

試験

回数	試験範囲	実施場所	実施日
1	レポート1～3	各学習センター	9月
2	レポート4～6	各学習センター	2月

学習の成果に係る評価及び単位の修得の認定に当たっての基準

添削指導、面接指導、試験の結果を、本校の「学習評価および単位認定の方針」及び評定基準に基づき総合的に評価する。所定の添削課題の提出、面接指導の受講及び試験の受験を満たし、学習成果が認められる場合に単位を認定する。

その他

各学習センターでは、本校の通信教育実施計画及び指示に従い実施する。施設状況や生徒の状況等に応じて日程・実施方法を調整する場合も、本校の承認又は指示のもと、指導内容・評価・単位認定基準に変更が生じない範囲で対応する。